

令和6年度 フードスペシャリスト資格認定試験実施要領

令和6年6月25日

公益社団法人日本フードスペシャリスト協会

1. 試験日時

令和6年度のフードスペシャリスト資格認定試験（以下「認定試験」という。）は、
令和6年12月15日（日）9時30分から実施します。

2. 試験実施場所

認定試験は、フードスペシャリスト養成機関（以下「養成機関」という。）として認定された学部・学科等を有し、令和6年度の認定試験を実施する教育機関（以下「受験教育機関」という。）を会場に実施します（これによらない場合は別途連絡します）。

なお、「令和6年度フードスペシャリスト資格認定試験実施予定校」は、公益社団法人日本フードスペシャリスト協会（以下「協会」という。）のホームページに掲載しています。

3. 認定試験と受験資格

(1) 認定試験は、次の資格区分ごとに行います。

- ①フードスペシャリスト資格
- ②専門フードスペシャリスト（食品開発）資格
- ③専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格

(2) 前記(1)の①の認定試験の受験資格を有する方は、下記のとおりです。

- 一 養成機関の最終年次に属する学生
- 二 4年制大学に置かれた養成機関の第3年次に属する学生で、卒業までに所定の授業科目の単位の全てを修得すると認められる方
- 三 養成機関を卒業しており、かつ、養成機関において所定の授業科目の単位の全てを修得済みあるいは修得見込みである方
- 四 フードスペシャリストの授業科目を担当している教員等（フードスペシャリスト養成機関としての認定を受けた教育機関の教授、准教授、助教、専任講師又は兼任教員及びフードスペシャリスト養成機関認定に関する規程第3条の(1)の教育課程を担当する非常勤講師並びに助手をいう。以下同じ。)

また、前記(1)の②及び③の認定試験の受験資格を有する方は、(1)の①の認定試験を同時に受験する方又は(1)の①の認定試験に既に合格している方及び就業者向け資格認定試験実施規程を満たす方です。

(3) 受験資格の認定は、養成機関の在籍者にあつては、在籍養成機関の属する教育機関（以下「在籍教育機関」という。）が、養成機関を卒業した非在籍者にあつては、卒業養成機関の属する教育機関（以下「卒業教育機関」という。）が行うものとします。

また、就業者向け資格認定試験の受験者にあつては、協会の専門委員会が行うものとします。

4. 受験教育機関

- (1) 養成機関の在籍者は、在籍教育機関で受験するものとします。
- (2) 養成機関を卒業した非在籍者は、卒業教育機関での受験を原則としますが、住所等の都合でこれによりがたい事情のある方は、受験申請書に受験希望地を明記し、協会事務局があっせんする教育機関で受験するものとします。就業者向け資格認定試験の受験者については、協会事務局があっせんするものとします。

5. 受験申請

(注) 就業者向け資格認定試験を受験する方は、「食品関連企業就業者向け専門フードスペシャリスト資格認定試験実施要領」をご覧ください。

〔養成機関在籍者〕

- (1) 養成機関在籍者にあつては、在籍教育機関を経由して認定試験の区分ごとに受験申請を行うものとします。
- (2) 養成機関在籍者は、在籍教育機関に対して受験する次の資格区分ごとの認定試験の受験料の総額を添えて受験申請を行って下さい。

①フードスペシャリスト資格	4,400円(税込価格)
②専門フードスペシャリスト(食品開発)資格	2,200円(税込価格)
③専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格	2,200円(税込価格)

なお、申請期限は、各教育機関が独自に定めます。通常、協会の受付期限よりも早めに締め切られますので、受験希望の方は注意して下さい。
- (3) 在籍教育機関は、(2)を取りまとめの上、**〈別紙1〉**の様式による受験者名簿を簡易書留郵便など送達を確認できる方式で**令和6年10月15日(火)まで**に協会に送付して下さい。
- (4) 振込に当たり、各教育機関は、認定試験の実施に伴う経費の一部に充てるため、協会から助成する額(受験料の15%に相当する額)を控除して下さい。なお、この方式によりがたい場合は、協会にご相談下さい。
- (5) 各教育機関は、受験者名簿の発送及び受験料の振込に時期を合わせ、次の資料を件名に教育機関名を入れて協会あてにE-mail (jimu@jafs.org) 添付で送付して下さい。
 - ア 受験者名簿のWordファイル
 - イ **〈別紙2〉**受験料振込通知書のWordファイル
 - ウ **〈別紙1〉**の**別添4**氏名外字表記表のPDF

〔養成機関非在籍者〕

- (6) 養成機関を卒業した非在籍者(以下「養成機関非在籍者」という。)にあつては、協会に直接受験申請を行うものとします。
- (7) 養成機関非在籍者は、令和6年9月2日(月)から9月30日(月)までに、以下の書類を簡易書留郵便など送達を確認できる方式で協会に送付するとともに、前記(2)の受験する認定試験の資格区分ごとの受験料の総額及び連絡通信費500円の合計額を一括して協会に振り込んで下さい。
 - ① **〈別紙3〉**の様式による受験申請書(写真及び受験料・連絡通信費の振込明細書のコピーを貼付のこと)

- ② 卒業教育機関から交付を受けた卒業証明書、単位修得証明書 又は成績証明書
ただし、②の書類は前記3の(1)の①の受験者に限り必要です。既に前記3
の(1)の①の資格を取得した方で前記3の(1)の②又は③のみの受験者は
不要です。

[共通留意事項]

- (8) 在籍教育機関による受験料の振込先は次のとおりです。また、養成機関非在籍者の受験料や連絡通信費の振込先は、みずほ銀行のみとします。

口座名義	公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会		
振込先	みずほ銀行	大塚支店 ^{オオツカ}	普通 2102419
	三井住友銀行	巣鴨支店 ^{スガモ}	普通 7195855
	三菱UFJ銀行	大塚支店 ^{オオツカ}	普通 0042968

- (9) 受験料や連絡通信費の領収書は、振込銀行の振込明細書(「振込金受取書」又は「利用明細票」)をもって代えさせていただきます。
(10) 一度納入された受験料や連絡通信費は、返納できませんので、あらかじめご了承ください。
(11) 受験者名簿に記載されていない方、受験申請書が提出されていない方及び受験料等の振込のない方は、認定試験の受験を認めません。

6. 試験の実施体制

- (1) 各受験教育機関は、フードスペシャリスト養成課程を担当する専任教員(学内兼任教員を含む)又は事務担当責任者の中から試験実施委員を選任し、令和6年10月末日までにその職名及び氏名を<別紙4>の様式により協会にお知らせ下さい。
試験実施委員は、1名に限りません。受験者の数に応じ、円滑な試験の実施に必要な数の試験実施委員を選任、通知して下さい。
- (2) 協会は、受験教育機関に対し、当該受験教育機関において受験を希望する養成機関非在籍者がいる場合、その名簿を令和6年10月23日(水)までに送付しますので、当該受験教育機関は<別紙5>の様式による受験会場案内を令和6年11月6日(水)までに協会にご報告下さい。
- (3) 協会は、令和6年11月22日(金)までに養成機関非在籍者である受験者本人に受験票と受験会場案内を送付します。
- (4) 協会は、令和6年12月9日(月)までに、各受験教育機関に、当該受験教育機関において受験する養成機関在籍者の受験票と養成機関非在籍者である受験者の受験申請書の写し(写真付)、試験問題及び解答用紙を簡易書留郵便など送達を確認できる方式で送付します(なお、これらについて分散して送付する場合があります)。
- (5) 試験実施委員は、養成機関在籍者の受験票について確認の上、受験者にお渡し下さい。
- (6) 受験票は、「令和6年度資格認定試験受験票」として<別紙6>の様式で呈示します。
- (7) 試験実施委員は、試験問題及び解答用紙について、到着後速やかに部数を確認の上、再厳封し、試験実施直前まで学内に厳重に保管して下さい。
- (8) 各受験教育機関における認定試験の実施に伴う経費は、それぞれの教育機関の負担とします。なお、養成機関非在籍者が受験する教育機関には、その受験者数に応じた額(受験料の15%に相当する額)を協会から助成します。

7. 試験日以降の対応

- (1) 試験実施委員は、令和6年12月15日（日）午前9時30分から、〈別紙7〉「認定試験実施の手引」に従い、認定試験を厳正に実施して下さい。
- (2) 試験実施委員は、認定試験後、回収した解答用紙、受験者出欠表〈別紙8〉及び養成機関非在籍受験者の受験申請書の写しを令和6年12月18日（水）まで必着となるよう、協会宛簡易書留郵便など送達を確認できる方式で送付して下さい。なお、送付された解答用紙に欠番がある場合、その受験者は棄権したものとみなします。
- (3) 認定試験の正解表は、解答用紙の受領を確認の上、令和6年12月19日（木）15:00に協会のホームページに掲載します。試験問題や正解表に意見のある方は、令和6年12月22日（日）15:00までに協会宛にメールでお伝え下さい。

8. 認定試験の内容

- (1) 各資格認定試験の出題科目と出題数、試験時間は、別表のとおりとします。
- (2) 各資格認定試験の問題は、協会の専門委員会が作成します。
- (3) 問題は、各資格認定試験とも五肢択一方式とし、解答用紙はマークシートとします。
- (4) 配点は各資格認定試験とも各問2点、120点満点とします。
- (5) 出題範囲は下記とします。なお、過去の問題に類似した問題が出題されることがあります。

フードスペシャリスト論	協会指定テキスト「四訂フードスペシャリスト論」第6版及び第7版の共通記載事項
食品の官能評価・鑑別論	協会指定テキスト「三訂食品の官能評価・鑑別演習」及び「四訂食品の官能評価・鑑別演習」の共通記載事項 ただし、四訂のテキスト第1章「官能評価」については、令和5（2023）年度から令和元（2019）年度の5年間の「官能評価」に係る過去問（総計 FS10問・専門 FS7問）に沿った内容を出題。具体的には、下記を参照 【フードスペシャリスト資格認定試験】 令和5（2023）年度資格試験 問題7及び問題8 令和4（2022）年度資格試験 問題7及び問題8 令和3（2021）年度資格試験 問題7及び問題8 令和2（2020）年度資格試験 問題7及び問題8 令和元（2019）年度資格試験 問題7及び問題8 【専門フードスペシャリスト資格認定試験（食品開発、食品流通・サービス）】 令和5（2023）年度資格試験 問題7及び問題8 令和4（2022）年度資格試験 問題7 令和3（2021）年度資格試験 問題7 令和2（2020）年度資格試験 問題7及び問題8 令和元（2019）年度資格試験 問題7
食品の安全性に関する科目	協会指定テキスト「三訂食品の安全性」第2版及び第3版の共通記載事項
栄養と健康に関する科目	協会指定テキスト「三訂栄養と健康」第2版の記載事項
調理学に関する科目	協会指定テキスト「調理学」第2版の記載事項
食品の流通・消費に関する科目	協会指定テキスト「四訂食品の消費と流通」の記載事項

フードコーディネータ論	協会指定テキスト「三訂フードコーディネータ論」の記載事項
食物学に関する科目	「フードスペシャリスト養成課程コアカリキュラム」を参照して出題。なお、協会指定テキスト「食物学Ⅰ」第2版、「食物学Ⅱ」（2017.9.15）及び「食物学Ⅱ」第2版（2022.7.20）の共通記載事項を参考として使用。

- (6) 出題の水準は、フードスペシャリストとして必要な基礎の知識・技術を根底に置き、それぞれの資格認定試験にふさわしいものとしします。ただし、フードスペシャリストを目指す者が当然注意を払うべき食に関する時事的テーマは、(5)の範囲にかかわらず出題することがあります。

別表

認定試験の出題科目と出題数、試験時間

出題科目		フードスペシャリスト 資格認定試験	専門フードスペシャリスト 資格認定試験	
			「食品開発」	「食品流通・ サービス」
共通 科目	フードスペシャリスト論	6	6	
	食品の官能評価・鑑別論	9	9	
	食品の安全性に関する科目	8	8	
	栄養と健康に関する科目	7	7	
	小計	30	30	
専門 選択 科目	食物学に関する科目	9	25	—
	調理学に関する科目	7	5	10
	食品の流通・消費に関する科目	7	—	10
	フードコーディネータ論	7	—	10
	小計	30	30	30
合計		60	60	60
試験時間		80分 9:30~10:50	80分 11:10~12:30	

9. 合否の判定と通知

- (1) 各資格認定試験の合否は、得点結果に従って、協会の専門委員会において判定します。
- (2) 解答用紙の提出がない受験者は、認定試験を棄権したものとみなします。
- (3) 専門フードスペシャリスト資格認定試験については、合格ラインに達していても、フードスペシャリスト資格認定試験に合格していなければ不合格としますが、翌年度にフードスペシャリスト資格認定試験を受験して合格した場合は、当該年度の専門フードスペシャリスト資格認定試験に合格したこととします。

一方、専門フードスペシャリスト資格認定試験が、共通科目と専門選択科目に二分されていることを踏まえ、令和元年度から、今年度及び昨年度における共通科目と専門選択科目の試験結果を踏まえて合否を判定する方法(分野合格)を導入しています。

この分野合格の仕組みにおいて、専門フードスペシャリスト資格認定試験に合格したと判定されるのは、以下の3ケースとなります。

- ① 今年度に共通科目と専門選択科目の総得点で合格ラインの得点を獲得した場合
- ② 昨年度に共通科目が合格ラインの得点を獲得して不合格とされたものの、今年度の専門選択科目において合格ラインの得点を獲得した場合
- ③ 昨年度に専門選択科目が合格ラインの得点を獲得して不合格とされたものの、今年度の共通科目において合格ラインの得点を獲得した場合

この分野合格に係る分野合格候補者の受験申請(受験料は免除)については、令和6年9月2日(月)から9月30日(月)までに、別紙9に示した受験申請書を簡易書留郵便など送達を確認できる方法で、当協会に直接送付して下さい。

- (4) 判定結果は、受験教育機関の在籍者にあつては、受験教育機関を通じて受験者に通知します。その他の受験者には、協会から受験者に直接通知します。

10. 資格認定証・表彰状の交付申請・授与

- (1) それぞれの資格認定試験に合格し、養成機関で所定の単位を修得して卒業等した方に対し、資格認定証を交付します。また、資格を優秀な成績で取得した者に学校推薦による表彰状を、フードスペシャリスト資格認定試験を特に優秀な成績で合格した者に専門委員会の推薦による表彰状をそれぞれ授与します。
- (2) これらの交付申請・授与については、それぞれの規程に基づき行います。具体的な手続きについては、在籍者にあつては合格者名簿の発送に併せて、受験教育機関に通知します。その他の者には、合格通知の発送に併せて通知します。

<別紙1>

令和6年 月 日

公益社団法人日本フードスペシャリスト協会
会長 青柳 康夫 殿

(教育機関名)

(代表者職名) ○ ○ ○ ○

職印

令和6年度フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿の提出について

令和6年度フードスペシャリスト資格認定試験の受験者名簿を**別添**のとおり提出します。

〔 なお、受験者名簿の備考欄に3年次受験と表示している受験者は、本学の○○学部○○学科○○専攻の第3年次に属する学生であり、卒業までにフードスペシャリスト資格規程第4条に掲げる単位の全てを**別添5**のとおり修得する見込みであることを証明します。 〕

(注) []内は4年制大学であって、3年次受験者が存在する教育機関のみ記載して下さい。

[受験者名簿記載上の留意事項]

- ① フードスペシャリスト養成機関を有する大学と短期大学が併置されている場合も、受験者名簿を別個に作成し提出して下さい。
- ② **別添1** 受験者総数は、複数の養成機関を有する場合、養成機関ごとに記入して下さい。また、養成機関の5桁コードは、協会ホームページに掲載している「令和6年度フードスペシャリスト資格認定試験実施予定校一覧」記載の5桁コードを記入して下さい。
養成機関名（学部・学科等）は、協会に届けている現在の名称を記入して下さい。
受験者の入学（編入）時の名称と異なる場合は、別添2、別添3の備考欄に「〇〇年〇〇学部〇〇学科入学（編入）」のように記載して下さい。
- ③ 受験者名簿は在籍者を養成機関ごとに別添2、別添3のように分けて作成して下さい。受験番号は、3桁の通し番号として下さい。
- ④ 受験者氏名は、養成機関ごとに氏名の50音順に記載して下さい。ただし、4年制大学で3年次受験者がある場合、まず、最終年次在籍者を50音順に記載し、次いで3年次受験者を50音順に記載して下さい。
氏名の表記は、戸籍抄本又は住民票の記載と同じにして下さい。なお、電子データでの名簿管理において注意を要する標準的文字以外の文字（外字作成を必要とする文字、ソフトウェアによって文字化けする可能性のある文字など）を使用する場合は、別添4の外字表記表に記入して下さい。
フリガナは必ず入力して下さい（ルビ機能は使わないで下さい）。
- ⑤ 卒業式予定日及び受験者の生年月日の表記は、原則として元号表記とし、卒業式予定日は「令和7年3月10日」のようにきちんと表記し、生年月日は「平成」を省略し「14.08.06」や「元.08.06」のように簡略表記して下さい。また、昭和生まれは「昭和」を省略し「63.07.01」のように表記して下さい。
ただし、卒業証書の表記と統一を図る観点から、フードスペシャリスト資格認定証に記載する交付日付及び生年月日を西暦表記にすることを希望される場合は、卒業式予定日を「2025年3月10日」のように西暦で完全表記し、生年月日を「西 02.08.06」のように西暦で簡略表記して下さい。
なお、留学生等の理由で特定受験者についてのみ西暦表記の認定証を希望する場合は、その受験者の生年月日について、「西 89.08.06」のように西暦簡略表記の前に「西」を付けて下さい。
- ⑥ 受験者名簿の認定試験区分欄には、当該受験者が受験する認定試験区分に○印を付けて下さい。
- ⑦ 備考欄について
 - (1) 3年次受験者の場合は、「3年次受験」と明記して下さい。
 - (2) 3年次にフードスペシャリスト資格認定試験に合格した人が、4年次に専門フードスペシャリスト資格認定試験を受験する場合は、「3年次合格」と明記して下さい。
 - (3) 受験者の入学（編入）時の名称と異なる場合は、備考欄に「〇〇年〇〇学部〇〇学科入学（編入）」のように記載して下さい。
 - (4) 全く同一内容の記載が続く場合でも、コピー・貼付け機能を活用し、きちんと記載して下さい。「//」の使用は不可です。資格認定証の申請者名簿作成にも活用できるようにするため、ご協力をお願いします。

(別添1)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者総数【総括表】
(養成機関在籍者、認定試験区分別)

学校名	卒業式予定日		
	令和・西暦	年	月 日
フードスペシャリスト資格認定試験	受験者総数	うち3年次受験	
	〇〇学部〇〇学科〇〇専攻 (5桁コード)	名	名
	〇〇学部〇〇学科●●専攻 (5桁コード)	名	名
	合 計	名	名
専門フードスペシャリスト (食品開発) 資格認定試験	受験者総数	うち3年次受験	
	〇〇学部〇〇学科〇〇専攻 (5桁コード)	名	名
	〇〇学部〇〇学科●●専攻 (5桁コード)	名	名
	合 計	名	名
専門フードスペシャリスト (食品流通・サービス) 資格認定試験	受験者総数	うち3年次受験	
	〇〇学部〇〇学科〇〇専攻 (5桁コード)	名	名
	〇〇学部〇〇学科●●専攻 (5桁コード)	名	名
	合 計	名	名

【注意】

- ・卒業式予定日の和暦・西暦表記は、受験者名簿の生年月日表記と統一させて下さい。
- ・受験者名簿の氏名、生年月日は、認定証交付申請者名簿や資格認定証に反映されます。

(別添2)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿（養成機関別）

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇専攻在籍者
-------	---------------------

受験番号	フリガナ	生年月日	性別	認定試験区分			備考
	氏名			フードスペシャリスト資格	専門資格		
					食品開発	食品流通サービス	
001							
002							
003							
004							
005							
006							
007							
008							
009							
010							
011							
012							
013							
014							
015							

(注) フードスペシャリストの授業科目を担当している教員等の場合は、備考欄に所属先と役職を記載して下さい。

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿（養成機関別）

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇専攻在籍者
-------	---------------------

受験番号	フリガナ	生年月日	性別	認定試験区分			備考
	氏名			フードスペシャリスト資格	専門資格		
					食品開発	食品流通サービス	
016							
017							
018							
019							
020							
021							
022							
023							
024							
025							
026							
027							
028							
029							
030							

(別添3)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿（養成機関別）

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科●●専攻在籍者
-------	---------------------

注：受験番号は（別添2）からの連番となります。

受験番号	フリガナ 氏名	生年月日	性別	認定試験区分			備考
				フードスペシャリスト資格	専門資格		
					食品開発	食品流通サービス	
031							
032							
033							
034							
035							
036							
037							
038							
039							
040							
041							
042							
043							
044							
045							

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿（養成機関別）

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科●●専攻在籍者
-------	---------------------

注：受験番号は（別添2）からの連番となります。

受験番号	フリガナ	生年月日	性別	認定試験区分			備考
	氏名			フードスペシャリスト資格	専門資格		
					食品開発	食品流通サービス	
046							
047							
048							
049							
050							
051							
052							
053							
054							
055							
056							
057							
058							
059							
060							

※ (別添2)、(別添3)及び(別添4)の記入例

(別添2)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿 (養成機関別)

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇専攻在籍者							
協会に届けている現在の名称にして下さい。								
受験番号	フリガナ		生年月日	性別	認定試験区分			備考
	氏名				フードスペシャリスト資格	専門資格		
						食品開発	食品流通サービス	
001	アラカワ	ヨウコ	13.08.06	女	○		○	最終年次受験 (50音順)
	荒川	洋子						
002	タカハシ	ヨシエ	13.10.29	女	○	○		
	高橋	芳江						3年次合格
003	タナカ	シュウヘイ	14.01.06	男			○	
	田中	周平						3年次受験
004	カトウ	カズオ	14.08.13	男	○			
	加藤	和雄						3年次受験 (50音順)
005	セガワ	アケミ	15.02.11	女	○		○	
	瀬川	明美						〇〇年〇〇学部〇〇学科入学 (編入) 〇〇年〇〇学部〇〇学科卒業

和暦・西暦表記は、卒業式予定日と統一させて下さい。
 なお、ここでの表記は「認定証交付申請者名簿」や「資格認定証」に反映されます。

(別添3)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿 (養成機関別)

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科●●専攻在籍者
-------	---------------------

注：受験番号は(別添2)からの連番となります。

受験番号	フリガナ		生年月日	性別	認定試験区分			備考
	氏名				フードスペシャリスト資格	専門資格		
						食品開発	食品流通サービス	
006	イノウエ	アキオ	05.02.14	男	○	○		昨年度より フードスペシャリスト の授業科目を担当して いる教員等の受験が可能 になりました。
	井上	昭夫						
007	キムラ	アヤカ	04.06.25	女	○		○	
	木村	綾香						3年次合格
008	ノムラ	テツヤ	元.08.06	男			○	
	野村	哲也						3年次受験
009	エガワ	ハルコ	05.10.15	女	○	○		
	江川	春子						食物栄養楽部/食物栄養学科 講師
010	ミウラ	キョウコ	55.01.01	女	○	○		
	三浦	教子						

(別添4)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者氏名の外字表記表

養成機関名 (5桁コード)	○○○○○○○○○大学 (○○○○○)
------------------	--------------------------

※氏名に外字表記を含む場合に記載をお願いいたします。

	受験者番号	氏名 (外字に○をつける)	外字 (手書きで大きく記載)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

(別添4)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者氏名の外字表記表

※外字表記表は、PDFにて協会へ送付して下さい。

養成機関名 (5桁コード)	○○○○○○○○○大学 (○○○○○)
------------------	--------------------------

※氏名に外字表記を含む場合に記載をお願いいたします。

	受験者番号	氏名 (外字に○をつける)	外字 (手書きで大きく記載)
1	001	①川 洋子	荒
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

(別添5)

3年次受験に係る単位修得証明（予定を含む）

養成機関名 (5桁コード)				
単 位 修 得 証 明 事 項				
規 定 科 目	左記規定科目に対応する 協会認定開設科目名	単位数	備 考	
フードスペシャリスト論			
食品の官能評価・鑑別論			
食物学に関する科目			
食品の安全性に関する科目			
調理学に関する科目			
栄養と健康に関する科目			
食品の流通・消費に関する科目			
フードコーディネーター論			
単 位 合 計				

(注)

- (1)養成機関が複数で、単位修得証明事項の内容が異なる場合は、表を分けて記載して下さい。
- (2)3年後期又は4年次での修得予定の場合は、その旨備考欄に記入して下さい。
- (3)フードスペシャリストの授業科目を担当している教員については、不要です。

<別紙2>

フードスペシャリスト資格認定試験受験料振込通知書

本通知書の様式は、一つの学校法人が大学と短期大学を併置している場合でも、大学と短期大学の別に記入して下さい。送金は、両方をあわせても結構です。その旨ご連絡下さい。

令和6年 月 日

1. 通知者概況

設置者名			
学校名			
事務担当者	職名	氏名	
	電話 () -	FAX () -	
	E-Mail		

2. 振込概況

振込元名称	(設置者名又は学校名)
振込先銀行	<input type="checkbox"/> みずほ銀行 <input type="checkbox"/> 三井住友銀行 <input type="checkbox"/> 三菱UFJ銀行 (該当を■に変換)
振込日	令和6年 月 日

3. 振込額の積算

認定試験区分	受験者数 (A)	1人当り受験料 (B)	受験料総額 (C=B×A)	受験実施経費 (D=C×15%)
フードスペシャリスト資格	名	4,400 円	円	円
専門フードスペシャリスト資格 (食品開発)	名	2,200 円	円	円
専門フードスペシャリスト資格 (食品流通・サービス)	名	2,200 円	円	円
合計	名	—	円	円

※受験料は全て税込価格です。

差引送金額 (振込額) = C の合計額 - D の合計額

= 円

<別紙3>

令和6年度 フードスペシャリスト資格認定試験
受 験 申 請 書

令和6年 月 日

ふりがな		生年月日	性別
氏名		昭和 平成 令和 年 月 日	男 ・ 女
連絡先住所	(〒 -)		写真貼付欄 写真を貼る位置 縦4cm×横3cm 6ヶ月以内に 撮影したもの 裏面に氏名を記入し のり付け
	自宅電話	- -	
	携帯電話	- -	
	E-Mail		
卒業養成機関名			
卒業年月	昭和 平成 令和 年 月 卒業	振込明細書（コピー）貼付欄	
受験する資格認定試験区分（該当するものに○印を）		振込明細書を貼る位置 （振込金額：受験料と連絡通信費の合計額）	
（ ） フードスペシャリスト資格			
（ ） 専門フードスペシャリスト（食品開発）資格			
（ ） 専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格			
専門資格試験のみの受験者の フードスペシャリスト資格取得年月	平成 令和 年 月 取得		
受験希望地	（ ） 卒業教育機関		
	（ ） 希望都道府県【 】		
	大学名等【 】		

(注)

1 氏名欄の漢字は、合格後「資格認定証」作成に使用しますので、正しく記入して下さい。

氏名の表記は、戸籍抄本又は住民票の記載と同じにして下さい。

なお、電子データでの名簿管理において注意を要する文字（標準的の文字以外の文字など）を使用する場合は、その文字を赤丸で囲んで下さい。

2 性別欄の男・女は、選択して○で囲んで下さい。

3 携帯電話番号とE-Mailアドレスは、協会からの連絡に必要ですので必ずご記入下さい。

4 受験希望地はどちらかに○を付けて下さい。

卒業教育機関以外を希望する方は、必ず希望都道府県名を記入して下さい。

受験会場（認定試験実施校）は、受験者の希望を踏まえて協会があつせんします。

*協会記入欄（受験者は記入しないでください）

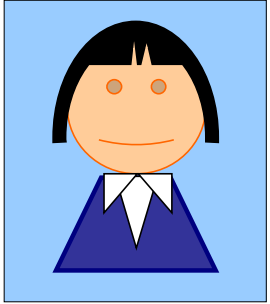
受験番号	学校コード	受験教育機関名
合格番号	学校コード	卒業教育機関名

令和6年度 フードスペシャリスト資格認定試験

受験申請書

氏名の漢字が外字の場合は、大きくわかるように記入して下さい。

令和 6年 ×月 ×× 日

ふりがな	にほん はなこ	生年月日	性別
氏名	日本花子	昭和 平成 令和 〇〇年 〇月 〇〇日	男 ・ <input checked="" type="radio"/> 女
連絡先住所	(〒170-0004) 東京都北大塚2-20-4 橋義ビル	写真貼付欄	
	自宅電話 03-3940-3388 携帯電話 090-△△△△-×××× E-Mail info@jafs.org		
卒業養成機関名	〇〇学園短期大学		

和暦で記載してください。

和暦で記載してください。

卒業年月	昭和 平成 令和 〇〇年3月 卒業
受験する資格認定試験区分(該当するものに○印を)	
<input type="checkbox"/> フードスペシャリスト資格	
<input type="checkbox"/> 専門フードスペシャリスト(食品開発)資格	
<input type="checkbox"/> 専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格	
専門資格試験のみの受験者の フードスペシャリスト資格取得年月	令和 〇〇年 3月 取得
受験希望地	<input type="checkbox"/> 卒業教育機関
	<input type="checkbox"/> 希望都道府県【 】
	大学名等【 】

〇〇〇銀行 ATMコーナー

お取引日	振込・振替先の口座番号		
23-9-××	普通0000000		
××-××	お取引口座番号		
****-****	*****		
振込手数料	お取扱紙幣枚数		お取引金額
***	万円	五千円	千円
***	***	***	***
お取引内容		お取引後残高	
電信振込		*****	
時刻	利用手数料	お取扱店番号	
1245	***	△△△	

(注) 卒業教育機関以外で受験を希望する場合は、ここに○を付けて、希望都道府県名・大学名等を記入して下さい。

- 性別欄の男・女は、選択して○で囲んで下さい。
- 携帯電話番号とE-Mailアドレスは、協会からの連絡に必要で
- 受験希望地はどちらかに○を付けて下さい。

〇〇〇銀行
〇〇支店
コウケンホンフードスペシャリストヨウカイ 様
ニホン ハコ 様

卒業教育機関以外を希望する方は、必ず希望都道府県名を記入して下さい。
受験会場(認定試験実施校)は、受験者の希望を踏まえて協会があっせんします。

*協会記入欄(受験者は記入しないでください)

受験番号	学校コード	受験教育機関名
合格番号	学校コード	卒業教育機関名

<別紙4>

試験実施委員選任通知書

令和6年 月 日

公益社団法人日本フードスペシャリスト協会
会長 青柳 康夫 殿

(教育機関名)

(代表者職名) (氏 名)

職印

令和6年度フードスペシャリスト資格認定試験における本学の試験実施委員を下記の通り選任しましたので通知します。

記

氏名

学内職名

氏名

学内職名

※この通知書は、フードスペシャリスト養成機関を有する大学と短期大学が併設されており、試験実施委員が同一の場合であっても、大学、短期大学それぞれについて提出して下さい。

<別紙5>

「〇〇〇〇〇〇大学」受験会場案内

- (1) 試験日時 令和6年12月15日(日)
- | | |
|--------------------------------|---------------|
| ・フードスペシャリスト資格認定試験 | 9:30~10:50 |
| ・専門フードスペシャリスト(食品開発)資格認定試験 | } 11:10~12:30 |
| ・専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格認定試験 | |

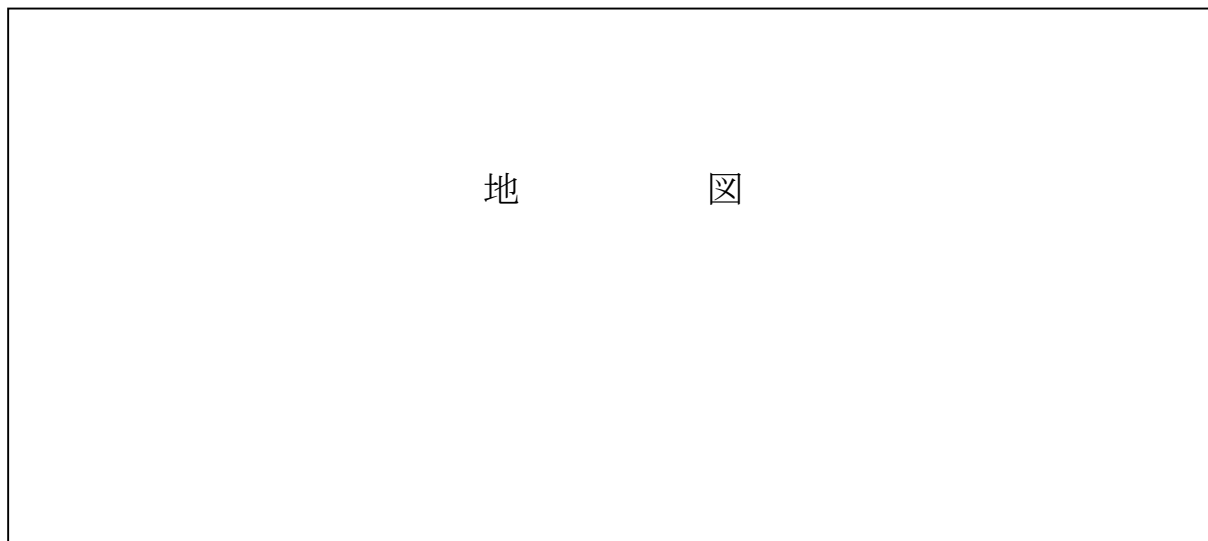
- (2) 受験会場
- | | | |
|--------------------------------|----|----|
| ・フードスペシャリスト資格認定試験 | 号館 | 教室 |
| ・専門フードスペシャリスト(食品開発)資格認定試験 | 号館 | 教室 |
| ・専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格認定試験 | 号館 | 教室 |

- (3) 緊急の連絡先
- 試験日前 TEL〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (担当者〇〇〇〇〇)
- 当日 TEL〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (担当者〇〇〇〇〇)

- (4) 遅刻許容限度 分迄

- (5) 当日の持ち物
受験票、身分証明書、筆記用具(鉛筆HBと消しゴム)

- (6) 所在地 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
最寄駅より徒歩 分



※受験会場には、時間に余裕をもってお出かけ下さい。

公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会

令和6年度資格認定試験受験票

養成機関
コード ○ ○ ○ ○

受験番号 ○ ○ ○

氏 名 フ リ ガ ナ
○ ○ ○ ○

受 験 日 令和6年12月15日（日）
 フードスペシャリスト資格認定試験
 午前9時30分から
 専門フードスペシャリスト資格認定試験
 午前11時10分から

受験する資格認定試験

- () フードスペシャリスト
- () 専門フードスペシャリスト（食品開発）
- () 専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）

会 場 △△（短期）大学

認定試験実施の手引

令和6年度フードスペシャリスト資格認定試験においては、この手引きに従って実施して下さい。

1. 在籍受験者への事前連絡

- (1) 受験票は、試験実施日の遅くとも3日前までに受験者本人に手渡して下さい。
- (2) 受験当日は、受験票及び学生証のほか、筆記用具（鉛筆HB・消しゴム）を持参するよう指示して下さい。
- (3) 各資格認定試験の開始時刻の10分前の着席を指示して下さい。
- (4) 学内試験規則に則り、遅刻許容限度を受験者に周知して下さい。

2. 試験会場準備

受験者数に応じて、学内に適当とする試験会場を設営し、受験者番号順に机・椅子を配列して下さい。一つの会場に収容できない場合は、会場を分けても結構です。なお、この場合、各会場に試験実施委員が配置されるよう配慮をお願いします。

3. 当日の作業の流れ

- (1) 受験者名簿により出欠を確認して下さい。
- (2) 受験票と学生証、既卒者（養成機関非在籍者）は身分を証明するものを机の上に置かせて下さい。
- (3) 既卒者（養成機関非在籍者）の本人確認は、別途送付する受験申請書の写し（写真付）で行って下さい。なお、その受験申請書の写しは解答用紙等と一緒に協会へ返送して下さい。
- (4) 学内試験規則に準じ、退出許容時刻を示して下さい。
- (5) 試験問題と解答用紙を配布して下さい。
- (6) 試験問題の表紙にある注意事項を丁寧に読むよう指示して下さい。
- (7) 氏名、養成機関コード、受験番号を解答用紙に記入するよう指示して下さい。
- (8) 各資格認定試験の開始時刻に試験開始を宣言し、試験問題を開かせて下さい。
- (9) 厳正な試験の実施を監督して下さい。
- (10) 各資格認定試験の終了時刻に試験時間終了を宣言し、筆記用具を置くよう指示して下さい。
- (11) 解答用紙を回収して下さい。
- (12) <別紙8>の受験者出欠表に必要な事項を記入して下さい。

4 不測の事態への対応

認定試験の当日、気象条件の急変や最寄り公共交通機関の事故・ストライキなど不測の事態が生じた場合の試験開始時刻の繰下げ等の対応については、試験実施委員の判断にお任せします。緊急対応が必要となった理由及び対応の内容を電話又はE-mailにより速やかに協会までお知らせ下さい。なお、学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第18条に規定する感染症に罹患したことにより出席が停止となった受験者については、受験料の返納はできませんが、翌年度に限り繰越受験の対象となります。出席が停止となった当該受験者については、受験者出欠表の備考欄に欠席理由となった感染症名を記載して

受験者出欠表

(教育機関名)

(試験委員名)

令和6年度フードスペシャリスト資格認定試験における各資格認定試験ごとの受験者数と欠席者数を下記に報告します(分野合格候補者、既卒者及び企業就業者を含む)。

なお、学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症に罹患したことにより出席が停止となった受験者については、欠席理由となった感染症名を備考欄に記入して下さい。

認 定 試 験 区 分	受験申請者数	欠席者数	差引受験者数
フードスペシャリスト資格認定試験			
専門フードスペシャリスト(食品開発)資格認定試験			
専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格認定試験			

◎欠席者の受験番号、氏名

No.	受験番号	氏 名	認定試験区分			備 考 (欠席理由となった 感染症名)
			フードスペシャリスト資格	専門資格		
				食品開発	食品流通サービス	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

(参 考) 令和6年度フードスペシャリスト資格認定試験チャート

